

清流の国ぎふ文化祭 2024

美濃の国 文化芸術大祭



photo by ATSUKO ITO (Studio LASP)

青木洋也指揮

アンサンブルセラオーケストラ 大平健介オルガン

Sinfonia/オーケストラ
Comfort ye my people
Ev'ry valley shall be exalted
テノールソロ/奥村心太郎

And the glory of the Lord/合唱
For unto us a child is born/合唱

Rejoice greatly, O daughter of Zion
ソプラノソロ/前田ひより

He was despised
アルトソロ/眞弓創一

I know that my Redeemer
ソプラノソロ/村瀬亜紀

Worthy is the Lamb/合唱
Hallelujah/合唱

Handel MESSIAH クワイア募集



👉 募集要項(詳細はこちらから御確認ください。) **締切 8月末日**

- ・対象 小学4年生以上～社会人
- ・練習 9月1・8・15・22日(日)17時～20時 練習4回と、リハーサル・本番
- ・会場 バロー文化ホール *9/22は青木先生レッスンで18時～21時です。

多彩な文化芸術が集結

中津川地歌舞伎公演
郡上踊り大演奏会
メサイア演奏会
ライオンキング演奏会
ピアノ独奏会
茶会・生花体験会
美濃の名産 食のブース他



11/10(日)

9:30～18:30
バロー文化ホール全館



第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭
「清流の国ぎふ」文化祭2024
ともに・つなぐ・みらいへ～清流文化の創造～
2024年10月14日(月・祝)～11月24日(日)



主催 TAJIMI CHOIR JAPAN 多治見少年少女合唱団とシニアコアと育成会

出演者プロフィール



指揮
青木洋也

東京藝術大学大学院で古楽演奏、エリザベト音楽大学大学院で宗教音楽学を学び、在学中より定期的に渡欧して研鑽を積む。宗教音楽を専門とし、J.S.バッハの《マタイ》《ヨハネ》の両受難曲や、多数のカンタータの独唱をつとめる。バッハ・コレギウム・ジャパンの主要メンバーとして国内外の公演・録音に参加している。近年は、合唱指揮者としても活躍しており、音楽誌上で「隙のない音楽づくりと、そのナンバーにふさわしい情景描写的確さ、声楽・器楽の見事なまとめ方は、彼の適応性とこれまでの経験の基盤がモノを言っている」など高く評価されている。指導にあたっているアマチュア合唱団は14団体を数える。「PURCELL PROJECT」代表。東京少年少女合唱隊特任指揮者。青山学院大学聖歌隊指揮者。洗足学園音楽大学非常勤講師。日本キリスト教団聖ヶ丘教会教会音楽主任および聖歌隊長。



オルガン
大平健介

東京藝術大学及び同大学院卒業。2010年ヴェルツブルク及びミュンヘン音楽大学にて教会音楽と現代音楽を学ぶ。2013年国家演奏家資格取得、文化庁新進芸術家海外研修員。2016年ION ニュルンベルク国際オルガンコンクール優勝。2020年までシュティフツ教会専属オルガニスト。ソリストとしては聖母教会(ドレスデン)、ミュンスター(フライブルク)、マドレーヌ寺院(パリ)、聖ポール大聖堂(ロンドン)等から招待を受けている。2021年に日本へ完全帰国し、現在は日本キリスト教団聖ヶ丘教会首席オルガニスト、アンサンブル室町芸術監督を務める。



ソプラノ独唱
前田ひより

岐阜県多治見市出身。愛知県立明和高等学校音楽科卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。第14回東海音楽フェスティバル声楽部門銀賞。第72回全日本学生音楽コンクール高校の部名古屋大会1位、全国大会出場。第73回全日本学生音楽コンクール高校の部名古屋大会1位、全国大会1位。荻野紗和子、中島郁子、平松英子氏に師事。



ソプラノ独唱
村瀬亜紀

岐阜市出身。岐阜県立加納高等学校音楽科、愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。聖徳大学大学院音楽文化研究科博士前期課程音楽表現専攻を首席修了。第66期二期会研修所マスタークラス修了。成績優秀者による「二期会新進声楽家コンサート」に出演。オペラでは「フィガロの結婚」スザンナ、パルバリーナ、「森は生きている」むすめ、「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル、等に出演。コンサートグループ「花の詩」会員。二期会準会員。



アルト独唱
眞弓創一

三重県鈴鹿市出身。国立音楽大学卒業後、東京芸術大学別科声楽専修を首席卒業。日生劇場主催オペラ「ヘンゼルとグレーテル」魔女役でオペラデビュー。二期会創立70周年記念および日生劇場開場60周年記念公演の三島由紀夫原作、宮本亞門演出のオペラ「午後の曳航」に2号役で出演。サントリーホールにて濱田芳通指揮によるオペラ「リナルド」魔法使い役で出演。また、個々・マユミ・歌楽寿としてソプラニスタとしても活動中。



テノール独唱
奥村心太郎

名古屋市出身。愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻を経て、同大学大学院音楽研究科博士前期課程修了。2022年、愛知県祝祭管弦楽団主催のヴァーグナーの楽劇《トリスタンとイゾルデ》(三澤洋史指揮)の舵手役でデビュー。公演前日に降板した羊飼いの役の代役も務めた。この他、チマローザ《秘密の結婚》パオリーノ役、2022年度同大学院オペラ《いつわりの女庭師》ベルフィオーレ役、2022年度愛知県立芸術大学定期演奏会における上野菜々”Soup's on!”の初演を手掛けている。これまでに声楽を坂井いづみ、初鹿野剛の各氏に師事。



Ensemble Cera アンサンブル・セラ

2015年にTAJIMI CHOIR JAPAN 多治見少年少女合唱団とシニアコアの専属オーケストラとして発足。「セラ」は陶磁器(セラミック)で有名な多治見にちなんでつけられた。コンサートマスターに松本一策氏を配し、東海地区で活躍する若手奏者を中心に構成され、様々なジャンルの演奏を得意としている。Xmasには、「ライオンキング」「アナと雪の女王」「レ・ミゼラブル」「Cats」等のコンサート形式演奏会を行い、好評を博した。